



香川県小豆島町が持続可能な観光地として選出されました！ ～グリーン・デスティネーションズが実施する「TOP100 選」に小豆島町が選出～

この度、持続可能な観光の国際的な認証団体であるグリーン・デスティネーションズが実施する表彰制度「TOP100 選」に香川県小豆島町が選出されましたので、お知らせします。

小豆島町は、観光庁が持続可能な観光地マネジメントを行うため取りまとめた「日本版持続可能な観光ガイドライン」の指標の効果検証を行うモデル地区に、今年 6 月、愛媛県大洲市の観光地域づくり法人（DMO）である一般社団法人キタ・マネジメントと共に、四国で初めて選定されており、モデル地区事業の一環として「TOP100 選」に応募していたものです。

今回「TOP100 選」に選出されたことにより、小豆島町の取り組みがグリーン・デスティネーションズのホームページに掲載されるなど、持続可能な観光地としての国際的な認知度向上につながることが期待されます。

当機構としても、小豆島町の「TOP100 選」への選出を契機に四国への一層の誘客を図るべく、各地域と協働し、日本を代表する「持続可能な観光の先進地域」として、四国のブランド化を進めてまいります。

（参考）

●グリーン・デスティネーションズ及び「TOP100 選」について

グリーン・デスティネーションズは、世界持続可能観光協議会（GSTC）が開発した持続可能な観光の国際指標の国際認証団体の一つです。

グリーン・デスティネーションズでは、100 項目からなる基準を設けており、「TOP100 選」は、この 100 項目の中から中長期的な観光戦略や文化財の保護などに関する 15 以上の項目に対する取組について、観光地がレポートを提出し、高評価を得られた場合に入選となります。

入選した地域は WEB サイト上に地域の専用ページが作成され、広く発信されます。

なお、「TOP100 選」には、毎年、世界の 100 の観光地が選出されており、本年、日本からは、奄美大島、阿蘇市、釜石市、京都市、長良川下流、七尾市と中能登町、那須塩原市、ニセコ町、佐渡市、小豆島町、豊岡市、与論島の 12 ヶ所が選出されています。